

港北区災害ボランティア連絡会ニュース



事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX045-531-9561

90 号

FB 港北区災害ボランティア連絡会

2021年2月

*入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください



コロナ禍での災害ボランティアに必要な ICT 技術

ICT化で人との接触削減と業務の効率化が簡単にできる

この間の ICT 技術の進歩は災害時のボランティアセンターの運営方法を変えつつあります。それに加えてコロナの問題が否応なく ICT 化への変化を速めています。私たちも学んでいかなければなりません。食わず嫌いは言えません。研究会に積極的に参加なさっている泉区の江尻さんに現状を報告していただきました。

2021年は、新年早々の新型コロナウイルス感染症「緊急事態宣言」でスタートしました。昨年1月からこのコロナ騒ぎが起きました。そこで災害ボランティア関連の専門家が集まり、コロナ禍での災害発生時、災害ボランティアセンター(以下災VC)開設・運営面でどう対応すべきかが検討されました。そして全社協から「新型コロナウイルス感染が懸念される状況における災VCの設置・運営等について～全社協VCの考え方～」(6/1)が、「新型コロナウイルスの状況下における衛生に配慮した災VC運営上の留意点」(7/15)が公表され、またJVOADからも「V・NPO等の災害対応ガイドライン」(6/1)が発行されました。

九州地方を中心に甚大な被害をもたらした7月豪雨が発生。7月6日に熊本県災VCが、7日に八代市、その後次々と被災各地に災害VCが開設されていきました。各地とも未経験の中、上記考え方・留意点を参考に、人との接触をいかに最小化するか、そのためには、従来からのHPやFacebookに加え、VC運営面ではV事前登録、V受入時対策(QRコードや時間制受け付け、オリエンテーション)の面で、また関

係組織・団体との連携・会議でICT化の採用が大幅に進展し、業務の効率化に繋がるシステムが各所で採用されていきました。それらの教訓や、またコロナ禍では限定された地域内での活動となり、広範囲からの支援が難しいこと、システム開発・習熟は平常時からの実施が必要なることから、神奈川県内、横浜市内でも、人との接触回避のため、ICT化の動きが出てきています。

具体的には、社協・災V団体内・地域関係組織(瀬谷・南・鶴見・磯子・青葉区など)でのオンライン勉強会、災VC運営のためのICT化の研修会(県内自由参加)が行われています。かながわ災害情報連絡会(ICTかながわ)では、何時起きてもおかしくない自然災害多発国のわが



南区社協と南区災害ボランティアとの合同勉強会

国、少なくとも横浜市内 18 区全部があるレベルになっておいて欲しいと 望み、これら勉強会・研修会のお手伝いを行っております。

(江尻哲二 泉区災害ボランティア連絡会、
かながわ災害情報連絡会)



*ICT のいろいろ解説

IT Information Technology の略。ハード・ソフト・アプリケーション・OA 機器等の全体を意味するもので「情報を効率的に処理できる技術」

ICT Information and Communication Technology の略。意味は「情報通信技術」。SNS 上でのやり取りやメールでのコミュニケーションなど、「IT 技術を使ってどのように人々の暮らしを豊かにしていくか」という活用方法のこと。ホームページやフェイスブック、サークルスクエアもその一つ。

活用例 ボランティアニーズ状況を GIS(地理情報システム)や、大判地図上にマッピングし、見える化をはかり、そこに時系列情報や災害時要支援者の方の情報なども入れられる。また、生の声などを補足するなど、重点地域を決めていきやすい。

QR コード スマホなどの読み取り機をかざすだけで情報を読むことができる。このニュースの題字面の右に入っている QR コードは連絡

会の Hp につながる。

Google Form アンケートの道具。様々な項目をインターネットで集計できる。その結果を一覧表にすることもできる。

活用例 QR コードで google form を読み取ってもらうことでボランティア希望者の登録などが対面することなく行える。(宇田川)

スマホデビューしたらメールも

変えませんか

この記事もデジタルがらみです。連絡会でも多用しているメールのやり取りを簡単、便利にするアイデアです。コロナ禍でサークルスクエアの使用頻度も高まっています。メールをうまく使いこなす必要があります。



携帯電話でメールを送るとき、キャリアの用意したメールアドレス(@docomo.ne.jp,@ezweb.ne.jp,@softbank.ne.jp,@i.softbanl.jp)を使われていることが多いと思います。これらは携帯電話会社が変わると使えなくなります。また、送受信できる添付ファイル大きさなども制限があります。せっかくスマホデビューされたのなら、メールアドレスも変えてみられてはいかがでしょうか。

iPhone 以外のスマホ(Android、Google など)であれば、必ず「google アカウント」をとるように勧められます。「google アカウント」の「ID」は「Google メール」のメールアドレス(***@gmail.com)になっています。iPhone の場合は、「 iCloud アカウント」をとるように勧められます。「 iCloud アカウント」の「ID」も google 同様「 iCloud メール」のメールアドレス(***@icloud.com)になっています。でも、アカウント登録しただけで、Gmail や iCloud メールは全く使っていない、という方も多いのではないでしょ

うか。

この二つのメールはいわゆる「WEB メール」と言われるもので、添付ファイルのサイズにもほとんど制限がなく、スマホのキャリアを変えてもメールアドレスを変える必要がありません。また、スマホ・タブレット・パソコンすべて同じメールアドレスで送受信が可能です。しかも「ID(メールアドレス)」と「PW(パスワード)」を記憶しておけば、借りたパソコンやタブレット・スマホからでも、Edge や Safari などからインターネットに繋いで、google や iCloud のサイトにログインすることで、メールを確認することができます。また、google や iCloud のサイトには無料で使える「ストレージ」(データの保管場所・ネット上にあるハードディスクみたいな存在)がついていて、うまく使えばとても便利です。

iPhone 以外のスマホで iCloud メール、iPhone で Gmail を使うことももちろん可能ですので、一度使い始めれば、スマホを変えても、携帯会社を変えても、メールアドレスを変更する必要がなくなります。今は Gmail 電話番号も、携帯会社が変わっても変わらなくなっていますので、メールアドレスが変わらなくなると、とても便利になると思います。また、Gmail は Google が、iCloud メールは Apple が迷惑メールの監視をしてくれており、比較的迷惑メールが少ないと言われています。

せっかくのスマホデビューです。ぜひメールアドレスの変更に挑戦してみてください。

(中島)

「より困っている人に

マスクを」活動報告

この間、新型コロナウイルスに罹患したり、不幸にも命を失った方とそのご家族にお見舞い申し上げます。

皆さんの生活はいかがだったでしょうか。マ

スクや薬の不足で困り、自粛生活でイライラがつのり、そして緊急事態宣言が解除されてようやくほっとしているところだと思います。しかし世の中には未だマスクも手に入れることができずに不安を抱えている人々がいます。

支えあう社会でありたい

人と離れ離れになるのを強制するこの病気だからこそ、逆に私たちは支えあうことの大切さを学びました。そこで私たちは未だにマスクの入手が困難な生活困難者や途上国へのマスクの提供をしたいと思います。

集めるマスク:未使用であること、数量(一枚から可、こちらで個包装します)

**不織布製、ガーゼ、お手製どれでも結構です
送付先:寿地区センター、ネパール国ゲダリ村**

このような呼びかけをした結果、区内外から600枚以上のマスクが集まりました。それに加えて購入した分もあり、総計800枚以上を、コロナで国際便も不定期になっている中、やっとの思いでネパールに届けることができ、ネパールの人々に手渡すことができました。また会員の砂田さんの力で寿地区センターにも届けることができました。ネットワークの意義を感じた今回の支援活動でした。

(宇田川)



現地での配布光景

災害本

『今日からできる!暮らしの感染対策』

バイブル』

堀成美監修 主婦の友社

1540 円

看護師で実地疫学専門家の監修者が、一般女性 1000 人へのアンケートで集められた感染症に関する疑問 165 個に答えた Q&A 形式の解説書です(アンケート実施は昨年 7 月、本の脱稿は昨年 9 月)。

本書の構成は、感染対策の基本の「予防編」、外出時の工夫を扱った「外出編」、家族を守る「家族編」、デマ情報に惑わされないための「知識編」、これからのウィズコロナとアフターコロナの「予測編」です(令和 3 年 1 月現在、若干予測が外れているところもあります)。

本書の特長として、「すべきこと」と「しなくていいこと」が分かって、神経質に過剰な感染対策をしなくてすみ、メリハリのある対策ができるようになる点が挙げられると思います。そして「利き手温存(使うなら反利き手)」、「手洗いは回数ではなくタイミング(TPO)」、「外出後、手指以外で一番汚れているのはスマホ(ケータイ)」など、要点を得た分かり易い解説が並んでいます。ネット上にもたくさん感染症対策がありますが玉石混交なので、少なくとも 1 冊は専門家が書いた本で学んでおくことをお勧めしたいと思います。なお、この本は横浜市立図書館に所蔵されています。

(室伏俊明)

~災害食メニュー募集しています~

毎年港北区災害ボランティア連絡会(災ボラ)



では年に一度講師の方をお招きしてセミナーを開催しておりますが、残念ながら新型コロナ感染拡大防止のため本年度は中止となります。

以前から災ボラではパッキングやローリングストックについて細々とではありますが提案してきました。そこでイベントタスクの活動として災害食のレシピを集め、ニュースや HP にてみなさまに発信していこうと思います。昨年までにいくつかのレシピも災ボラ定例会や災ボラのメンバーの所属する団体などで試食しています。さらにこれから様々な状況下で参考にできるメニューを集めて行きます。



毎回乾パンなんて絶対無理

つきましてはみなさまのアイデアを募集してまいります。「我が家のお得意メニュー、実は災害時にも食べられるの」「コロナ禍でのこもり生活中に缶詰料理でこんなおいしい食事ができちゃった」「災害食特集のこんな本出ています、分かり易いです」などなどありましたら教えてください。

イベントタスク 小澤美津子

編集後記

☆ソーシャルディスタンスが叫ばれる今、災害ボランティアにとっても ICT 知識は必須です。(宇田川)

☆IT 分かっています。私には能力が足りないのかな? 頑張ります。(付岡)

☆食環境衛生研究所の YouTube 動画「効果的」手洗い技(2 回洗い、合掌水切り)もお勧めです。(室伏)

☆奉仕も IT もできることから始めましょう。(中島)

☆コロナの時代だからの ICT。でも取説が難しい。対面で説明されたら理解できそう。この矛盾が悩ましいです。(一政)